

---

# 逃走中

秋元愛羅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

逃走中

### 【著者名】

秋元愛羅

N1622N

### 【あらすじ】

篠原リコ、15歳と4ヶ月。私は今  
.....逃走中です。

篠原り一、15歳と4ヶ月。私は今  
中です。  
逃走

「わあ~~~~~！」

ええ、私は逃げてるんです。

逃走中つて言つているほどですか？

犬とか狼とかではありません。もちろんこれは現代なのでゾンビとかでもありません。

何に、いや誰に逃げているのかと言こますとそれは……

「逃げんな、ボケエ~~~~~」

私の大事な友人A、B、Cです。

……別に本当にA、B、Cって言つづ前ではありません  
からね。

追われている理由は2時間前。

でもその事の発端は2年も前なので順に話してゆきましょう。

それはそれは2年前の夏。

私は同じクラスの男子に恋をしました。ええ、一日惚れではありますのが初恋です。

なので男子と話さない私ですが頑張りました。それはそれは。

ですが彼には好きな人がいました。

これを聞いたらあなたはどうしますか？

私は好きとも言えずそっと身を引きました。これが新学期始まる前です。

3年の最後のクラスは彼とは思いつき離れこのまま儚い初恋だったと完結するのだと思つてました

…………… そう半日前までは。

（半日前）

「つづり～～～航貴くんに手紙出したかい

あ、忘れてました。高崎航貴つていう名前です。  
もちろん私の周りの友人たちは知っています。  
もちろん彼に好きな人がいることも。

「なんで私に言つの?」

「そりや、リーフの上でラブレター書いたから」

一瞬、は？って成りました。あなたもなりますよね。  
いきなりあなたの名前でラブレター書きましたって言われたら。  
しかも……

「今日の帰り理科室で待つてもうつから告白しておこで」

なんて軽く言つもんだから何がつて思いました。  
それから私は逃げようと必死だったんだけど失敗。  
航貴君いないでつて祈るも先に来ていて。  
まあ、優しい彼のことだから来るだろうなって内心思つてたり。  
で、理科室前でひともんちやくあり逃げています。

だけど荷物を教室に忘れたから帰れないんですよ。

絶対今言つたらロ、Eに見つかって捕まえられる…………

なので私の作戦はこいつ。

まずは5時まで逃げる 多分帰つてゐるはず なので告白できない

明旦朝早く航貴君に説びを言い終わり。

我ながらいい考えです。

そのため後30分逃げなけばれ

……

「はあ、はあ」

現在駐輪場。ここは壁で地面が見にくいためひなたで隠れるのこつ  
つてつけ。

最高な場所です。

もつすぐ受験かあ。勉強しないとなあ。

はあ～～～～～

「卒業したくないなあ

「うん、そうだね」

はい？！

な、なななななんで？！  
だつてだつてり、理科室にいるはずですよね、航貴君。

「理科室から見えたから」

ああ、そつ言えれば」」の上理科室でしたね。  
当たり前と聞えれば当たり前か。

「で本題に入つていー？」

本題つと聞こまかとやつぱつ

「何か言つた」とでも有つたの？」「うひゃん  
「うひゅひゅひゅひゅ。これはね  
「ラブレターだつたら嬉しいな」

へつ？今なんていいました？

ラブレターダツタラウレシイナ

## ラブレターダッタラ

き、期待しちゃいますよってこの部分がでたり。大丈夫、断ることできる。だってずっとそうして来たから。

「あのね、」

「僕ね、ココちゃんのこと好きだよ」

.....はい?

本日一度田の理解不能が。  
てかその言葉はどうちの「もちろん女の子としての好きだよ」  
.....をよいでですか。

ん? はへ?

「はー? ! ? ! ? ! ? ! ? ! ? ! ? !

「相変わらず面白いね」

「ええ、面白いとかではなくて。  
言つてること分かつてますよね…………？」

「つ」ちゃんの友人からさあ、まづほかにやつて。だから言  
ひことにしたんだ

やつぱりギャラシヒ手を握られた。

「僕はつ」ちゃんのこと好きです

「わ、私も

-----大好きです。

逃走して着いたのは彼の場所でした。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1622n/>

---

逃走中

2010年10月9日00時23分発行